

東京都認証学童クラブ（移行型）設置申請書

東京都知事 殿

設置者

住 所 目黒区

氏 名 目黒区長 青木 英二

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章2（1）①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			原町小学校内学童保育クラブ									
2	学童クラブの所在地			郵便番号	152-0011		住所	東京都目黒区原町二丁目18番12号					
3	設置・運営形態			公 設 民 営									
4	設置主体	名称		目黒区									
		住所		郵便番号	153-8573		住所	目黒区上目黒2-19-15					
		代表者		目黒区長 青木 英二									
5	運営主体	名称		株式会社セリオ									
		住所		郵便番号	530-0003		住所	大阪市北区堂島1-5-17 堂島グランドビル7階					
		代表者		代表取締役 黒崎 泰司									
6	学童クラブ事業開始年月			令和	3	年	4	月					
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	7	年	4	月					
8	支援単位（※1）との状況	（支援単位名）	専用区画面積	（育成室）	74.44	㎡	（児童数で按分したときの1名あたりの面積）			1.654222	㎡		
			児童数	45	名								
			職員体制	放課後児童支援員（常勤）			3	名	放課後児童支援員（非常勤）				名
				補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）			2	名
9	開所時間	平日	放課後から		19時	まで							
		土曜日・長期休業期間	8時	から	19時	まで							
10	国庫補助の有無			有									
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有									
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有									
13	長期休業期間中の昼食提供	有	夏季休業期間	24 (42日)	日間提供 (夏季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (区市町村による手配)					
		有	冬季休業期間	4 (13日)	日間提供 (冬季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (区市町村による手配)					
		有	春季休業期間	4 (12日)	日間提供 (春季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (区市町村による手配)					
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有（別紙様式5のとおり）										
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有（別紙様式5のとおり）										
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有	令和	10	年度	受審予定					
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）												
17	利用料	月額	0～9,000	円									
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)											

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、第8号様式乙に記載ください。

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
1. 子ども会議の開催 学童内での活動内容やルールについて子ども同士で話し合う時間を作り、子ども達が自ら考え行動できるように進めていく。 話し合いのテーマ例：新しい遊びのアイデア・誕生日会のおやつリクエスト・「片付けのルール」など生活面の改善案	
2. 子どもによるイベント企画 夏祭りや誕生日会などの行事を、子どもが計画から関われるようにする為、話し合いで内容決めや役割分担も子どもが主導でイベントが進められるように促していく。	
3. グループ活動 学年が上の児童が低学年とグループ活動を行うことで「お兄さん・お姉さん」として活動をリードし、下級生からの意見を集める役割や多学年交流の中で意見が活かされる活動を取り入れている。	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎	日	・ランランひろばの活動場所である、校庭、体育館を利用して毎日身体を動かす遊びを行っている。 例：鬼ごっこ、サッカー、縄跳び、野球、一輪車、ドッジボール、ゾンビ、リレー等 ・親子交流会…地域の児童館学童保育クラブと連携して、保護者と一緒に自己紹介ゲーム・ボール送りやドッジボールを親子での遊びを通して交流を図るイベントを実施した。
「製作活動等」	毎	日	・学童内、ランランひろばで毎月職員が考えた制作活動を行っている。 ネクタイキーホルダーやアンブレラマーカー、サンキャッチャー、ランチBOX等子ども達の興味関心を持てるような、工作を取り入れたり、絵画に精通した職員による「絵画教室」も学童では行っている。日常的にも子ども達が自身が自ら取り組んで廃材を使った工作を楽しんでいる。 例：空き箱迷路制作、毛糸でポンポンづくり、ダンボールロボット制作等
「地域の文化等に触れる体験」	12	回	・大学生によるボランティアの受け入れた。学童やランランひろばで子ども達と一緒に遊びや交流を図った。 ・毎月地域の住区住民会議への参加している。会議では地域の情報を共有したり、地域のイベントに参加している。住区のお祭りにも学童・ランランひろばの職員がコーナーを出して、地域の方と交流を図っている。
「自主学習」	毎	日	・学童登所後 3 0 分間は学習時間を設けて、学校、塾、習い事の宿題に取り組んでいる。 ・一日保育の時は、9 時から 9 時 3 0 分で朝の学習時間を設けて、子ども達が自主的に勉強できるように促しをしている。
「児童の意見を反映させた行事」	12	回以上	・子ども達との会話の中で、遊びたい遊びややってみたいイベント等の話題を聞き、日々の行事内容や、誕生日会の内容を日常的に反映させている。また夏祭りでは、子ども達が企画、作成、運営と子ども達がやりたいお店をグループ活動として進めている。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----